

コード番号R5606(140916-150305)

RIDA QUICKフモニシン RQS取扱説明書

(r-Biopharm社製)

(抄訳版:必ず原文をご確認ください。万一、本書が原文と異なる場合は原文を正とします。なお、仕様・価格は予告なく変更される場合があります。)

RIDA QUICKフモニシンはイムノクロマトグラフィ法でトウモロコシ中のフモニシンを検出するキットです。

必要なすべての試薬が試験キットに収められています。

結果はRIDAクイック・スキャン(ZG5005)で判定します。

試料調製: ホモジナイズ後、抽出

所要時間: 試料調製(10試料):約10分間

試験時間(インキュベーション時間):5分間

検出限界: 約0.3mg/kg(ppm):8.1.章を参照

約3.0mg/kg(ppm):8.2.章を参照

特異性 ; RIDA QUICKフモニシンRQSはトウモロコシ試料中のフモニシンを検出します。この試験法はトウモロコシのマトリックスで妥当性検証がなされています。

1. 用途

RIDA QUICKフモニシンRQSキットは、トウモロコシ中のフモニシンを、RIDAクイック・スキャンで定量的に検出するための、イムノクロマトグラフィに基づくキットです。

2. 概説

フモニシンはトウモロコシ中に宿主特異的に生育する*Fusarium moniliforme*によって産生される、発がん作用があり毒性が高い代謝産物です。フモニシンが毒性を発揮する濃度は、動物種によって異なります。

3. 試験の原理

この試験はストリップ上で起きる抗原抗体反応を利用した、イムノクロマト法に基づいています。フモニシンに対する特異抗体は試料中のフモニシンと結合します。結果は生じたバンドをRIDAクイック・スキャンで測定します。

対照バンド(コントロール・ライン)は、試料中のフモニシンの有無に関わらず、試験が有効ならば必ず出現するように設計されています。

4. キットの内容

各キットには20回の測定に必要な以下の資材が含まれています。

- テストストリップ 20本(一回の測定で一本を使用。個別包装)
- 抽出バッファー 1本(100mL)(5倍濃厚液)

5. 必要な材料(キットに含まれない)

5.1. 機器:

試験室用破砕機またはグラインダー

上皿はかり

オプション:振とう機。

オプション:ワットマンNo.1ろ紙相当の物、または遠心分離機

メスシリンダー

100 μ L、300 μ Lおよび900 μ Lのマイクロピペットとチップ

RIDAクイック・スキャン(ZG5005)

6. 注意事項

この試験は、訓練を受けた職員のみが実施するようにして下さい。取扱説明書には厳格に従って下さい。

反応ストリップは極めて湿気に弱いです。高い湿度は試験に影響して陰性の結果が出る場合があります。このため、ストリップは湿気を避けるようにして下さい。キットの袋を開封した場合に特にご注意下さい。

7. 保存時の注意事項

キットは2~8°Cで保存してください。凍結させないこと。

使用期限を過ぎたキットの品質は保証できません。(ラベルをご覧ください。)

ロット番号が異なるキットの個々の試薬を同時に使用することはできません。

8. 試料の調製

冷やした抽出バッファーを蒸留水で5倍に希釈し、冷蔵庫で保管します。有効期限は希釈では変わりません。試験される前にテストストリップと抽出バッファーを室温(20~25°C)になるまで室内に静置して下さい。

試料は冷暗所で保存してください。

適切な方法でサンプリングした代表サンプルを抽出前によく挽いて攪拌して下さい。

8.1. 検出限界0.3mg/kg (ppm)の場合

- ・よく砕いた試料5gを秤量し、ネジフタ付き試験管に入れ、抽出バッファー20mLを加える。
- ・蓋をして手またはシェーカーで、5分間激しく振とうする。
- ・3～5分間静置し沈殿を生じさせた後、ろ過または遠心分離で沈殿物を取り除く。
- ・100 μLの上清液に抽出バッファー700 μLを加える。(希釈液1)
- ・希釈液1を100 μL、ストリップの試料滴下エリアに滴下する。

8.2. 検出限界3.0mg/kg (ppm)の場合

- ・よく砕いた試料5gを秤量し、ネジフタ付き試験管に入れ、抽出バッファー20mLを加える。
- ・蓋をして手またはシェーカーで、5分間激しく振とうする。
- ・3～5分間静置し沈殿を生じさせた後、ろ過または遠心分離で沈殿物を取り除く。
- ・100 μLの上清液に抽出バッファー700 μLを加える。(希釈液1)
- ・100 μLの希釈液1に抽出バッファー300 μLを加える。(希釈液2)
- ・希釈液2を100 μL、ストリップの試料滴下エリアに滴下する。

試験手順

試験液(8.1.、8.2.参照)100 μLを反応ストリップの試料滴下エリアに滴下する。

結果を正確に5分後(+15秒)にRIDAクイック・スキャンで判定する。

9. RIDAクイック・スキャンによる結果解析

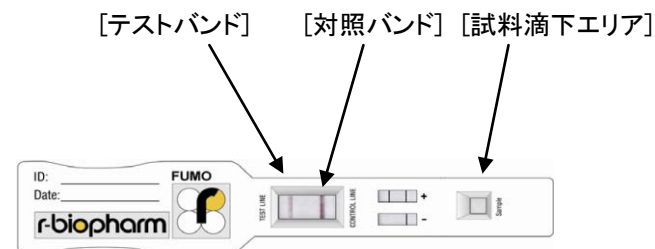
はじめにRIDAクイック・スキャンの取扱説明書をよくお読み下さい。 キットでのRIDAクイック・スキャンの使用法についての短い文章をご参照下さい。

ストリップの途中にある窓の右側に出るバンドは対照バンドで、必ず出るはずですが、万一それが出ない場合は試験手順が不適切であったか、試薬が変性していたかを意味します。新しいストリップで再度試験して、それでも対照バンドが出ない場合は販売店にご連絡下さい。

注意: もし試料に1000 ppbを超えるフモニシン汚染がある場合はバンドが極めて薄くなります。

比較できる値を出すためには、常に試料添加後、正確に5分後に測定して下さい。

【図1】 RIDAクイック・フモニシンのテスト・ストリップ



11. 感度

RIDA QUICKフモニシンRQSは0.3mg/kg (ppm) から10mg/kg (ppm) の濃度のフモニシン汚染を検出することができます。

R-Biopharmはその製品が標準の品質であること以外には何ら明示的にも示唆的にも保証するものではありません。製品に不具合があれば、R-Biopharmは代替を提供いたします。この製品の商品性およびいずれの目的に対する適合性を保証するものではありません。R-Biopharmはこの製品の使用により生じる直接あるいは間接の費用や、特別あるいは甚大な損害を含むあらゆる損害に対し、その責を負うものではありません。

以上は、その輸入販売を行うものも同様です。

本キットはドイツr-Biopharm社の製品で、アヅマックス株が輸入販売しています。なお御不明な点がございましたら下記にご連絡ください。

輸入販売：アヅマックス株式会社

お問合せ・ご注文：アヅマックス株東京営業所

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5F
TEL.03-6661-1090 FAX.03-6661-1091 E-mail:sales@azmax.co.jp

本社

〒290-0044千葉県市原市玉前西1-6-13

ご注意

- 吸飲したり、皮膚と接触したりすると有害である試薬類が含まれています。
- 使用前に、取扱説明書等をよくお読みいただき、注意事項をお守りください。
- 責任ある管理者の指導のもとに、保護手袋、保護メガネ等を着用して取り扱ってください
- 開封後は、各容器を密閉し、取扱説明書とともに保管してください。
- 廃棄する場合には、衛生面、環境面に十分配慮し、法規を遵守してください。
- 身体に異常を感じた場合は、ただちに医師の手当を受けてください。
- テスト結果の判断と運用はすべてお客様自身の責任で行ってください。

保証について

アヅマックス㈱は、販売製造後1年以内あるいは記載有効期限のいずれか短い期間内に、キット添付の取扱説明書に基づき使用された場合において、製造物流保管等作業の不具合等による部材等の瑕疵に対してのみ補償いたします。

取扱説明書、ユーザーガイド、検査手順およびアプリケーションは、購入者のためのガイドラインとしてのみを目的として作成されておりますので、購入者の皆様には、各検査手順やそれぞれのアプリケーションにおいての妥当性を、自ら検証していただくようお願いいたします。テスト結果の判断と運用はすべてお客様自身の責任によるもので、この商品の使用によるすべての直接のおよび間接的な結果としての経済的損失や財産の損害などあらゆる損害に対し、明示的にもあるいは暗示的にも、一切補償するものではありません。また、なんら特定目的への適合性や商品性の保証も致しておりません。

補償に関する唯一の義務は、有効期限内において作業の不具合等による部材等の瑕疵が証明され弊社にすみやかに告知された場合のみであり、購入品あるいはその一部に対し、交換か返金がなされます。